

令和元年度第1回 船橋市行財政改革推進会議

市民意見の聴取等について



令和元年8月6日

企画財政部 行政経営課

パブリックコメント・ウェブアンケートの実施概要

目的

行革レビューにおける見直しの方向性について、パブリックコメント・ウェブアンケートにより市民等から意見を聴取し、今後の行財政改革の取り組みに市民意見を反映させる。

対象範囲

1 業務改善による事務執行の効率化

4 普通建設事業の精査・見直しと公共施設マネジメント

2 民間活力の積極的活用

5 受益者負担の見直し

3 事業の精査と見直し

6 安定的な財政運営のための歳入確保

期間(予定)

令和元年8月19日～
令和元年9月18日

対象者

市内に住所を有する方、市内に通勤又は通学している方、その他見直し方針に対し、利害関係を有する方

パブリックコメント・ウェブアンケートの位置付け

パブリックコメントを実施することで、個別具体的な意見を聴取できる一方、サイレントマジョリティーの意見を聴取しにくいいため、ウェブアンケートも実施する。

	パブリックコメント 	ウェブアンケート 
目的	見直しの方向性について、 <u>個別・具体的な</u> 意見を聴取する。	見直しの方向性について、 <u>サイレントマジョリティー</u> の意見を聴取する。
傾向	回答に時間を要するため、回答数が少ない。	回答をしやすくし、 <u>回答数を増やす</u> 。
実施方法	「行革レビュー」に対し、自由記述により意見をもらい、郵送・FAX・電子メール・持参にて提出してもらう。	「選択方式のアンケート」に対し、原則、ホームページから回答してもらう。紙のアンケート用紙を市役所、出張所、船橋駅総合窓口センター等でも配布、回収する。

ウェブアンケートについて

ウェブアンケートの概要

構成

行革レビュー対象(民間活力の積極的活用・事業の精査と見直し・受益者負担の見直し)
それぞれの回答フォームを市ホームページに作成。

回答の流れ



- (1)ウェブアンケートページや行革レビューを読み、見直しの方向性を確認。
※ウェブアンケートページに、市の見直しの考え方の概要を掲載。
- (2)選択式や自由記述式でアンケートに回答。

ウェブアンケートについて

民間活力の積極的活用(指定管理者制度導入の推進)

概要

- ・導入する方向性の施設について、それぞれ意見を聞く。
- ・導入検討を継続する施設について、どの施設に導入した方が良いと考えるか聞く。

〈設問例〉

- ・都市公園へ民間活力(指定管理者制度)を活用することについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

- 【選択肢】 (1) サービス向上やコスト縮減をするために、民間活力を活用していくべき
(2) サービスが向上するのであれば、民間活力を活用しても良い
(3) 引き続き市が管理運営を行うべき(→次の設問へ)
(4) わからない (5) その他

- ・(3)と回答した方に伺います。選択した理由について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

- 【選択肢】 (1) サービスが低下すると思うから
(2) 使用料が高くなると思うから
(3) 民間に任せると不安だから
(4) わからない (5) その他

ウェブアンケートについて

事業の精査と見直し(市単独事業の見直し)

概要

- ・他市より高いサービス水準で実施している事業、複数の所管や国・県制度と類似・重複している事業について、意見を聞く。
- ・個別事業について、自由記述により意見を聞く。

〈設問例〉

- ・他市のサービスより高い水準で実施している事業*の見直しを行うことについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

※他市より補助金の額を高くしていたり、対象者を拡大している事業のこと。

- (1)他のサービスに活用するため、積極的に見直しをしていくべき
- (2)現在やこれから必要とされるサービスに活用されるのであれば、見直しもやむを得ない
- (3)現在やこれから必要とされるサービスを抑制してでも、見直しを行うべきではない
- (4)わからない
- (5)その他

- ・敬老行事事業を見直すことについて、あなたの考えを自由に記述してください。

※敬老行事事業は、長寿を祝い、敬老思想の高揚を図るため、記念品購入券を交付するものです。77歳(1万円)・88歳(2万円)・99歳(3万円)・100歳以上(5万円)を対象に記念品購入券を交付していますが、他市と比較すると、交付対象者が多く、金額も高くなっています。

ウェブアンケートについて

受益者負担の見直し

概要

- ・受益者負担の種別ごとに、それぞれ意見を聞く。
※種別：公共施設の使用料、駐車場の有料化、国民健康保険料、下水道使用料、保育料

〈設問例〉

- ・公共施設の使用料を見直すことについて、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

- (1)他のサービスを充実させるために、積極的に見直しをすべき
- (2)増加する市民サービスに対応していくためには、見直しもやむを得ない
- (3)他のサービスを抑制してでも、引き続き税金等を投入し、見直しを行うべきではない(→次の設問へ)
- (4)わからない (5)その他

- ・(3)と回答した方に伺います。選択した理由について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。

- (1)使用料が高くなりすぎると思うから
- (2)施設の建設などにかかる費用も全て税金等で賄うべきだと思うから
- (3)主に個人が趣味のために使用する施設も多く税金を投入すべきだと思うから
- (4)わからない (5)その他

市民ワークショップ

船橋の行財政改革を考える
募集中!
市民ワークショップ
 ～「船橋の行革」～
 体験してみませんか? ? ?

★参考無料★
 飲み物やお菓子をご用意しますので、
 リラックスした雰囲気お気軽に参加で
 きます。

【行革って何?】
 行革（行財政改革）とは、
 今後必要とされる市民サー
 ビスの維持・向上を図るた
 め、これまでの行政運営の
 あり方を見直していくこと
 です。

◆応募方法◆
 同封の参加申込書に必要事項を記入し
 郵送いただくか、下記QRコードよりお
 申込みください。
 【申込み期限：7月19日（金曜日）】

令和
 元年 9月7日（土）
 13:30～15:00
 （受付13:00～13:20）
 船橋市職員研修所601研修室
 （船橋市湊町2-6-10）

定員
 20名

【お問い合わせ】
 企画財政部行政経営課
 行財政改革推進係
 TEL047-436-2462

※ 応募多数の場合は、応募者の男女比や年齢構成、地域構成などバランスを総合的に判断して決定します。
 ※ 参加が決定した方には、後日改めて参加決定通知をお送りいたします。

市民ワークショップって
 何をやるの?

どうすれば効率化
 できる?

行革をするとど
 んな良いことが
 あるの?

ムダをなくすには
 どうすればいい?

この事業って
 必要?

当日は以下のようなテーマを予定しています。(※)

民間活力の
 積極的活用

市の事業の
 見直し

適正な使用
 料金???

市民ワークショップでは、テーマに沿って、皆さんで意見
 交換や話し合いを通じて、行革を体験していただけます。

※ 市民ワークショップのテーマや行革の取り組みの詳細については、当日にご説明
 いたします。テーマは変更となる場合があります。

市民の皆様と共に行財政改革を考える取り組みの
 一環として「船橋の行財政改革を考える市民ワー
 クショップ」を開催します。

ワークショップでは、テーマに沿って、参加者の意
 見交換などを通じて、市民に行革を体験していただ
 く。

大学生向け

日 時:令和元年8月21日(水) 18時30分～20時

会 場:中央公民館

対象者:包括連携協定を締結する大学等のうち約20名

市民向け

日 時:令和元年9月7日(土) 13時30分～15時

会 場:職員研修所601研修室

対象者:無作為抽出3,000名のうち約20名

行革シンポジウム

株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門ディレクター/プリンシパル
日吉 淳氏

船橋市自治会連合協議会会長
本木 次夫氏

船橋市長
松戸 徹

法政大学大学院公共政策研究科教授
武藤 博己氏

公益社団法人神奈川県地方自治研究センター研究員
法政大学人間環境学部兼任講師
谷本 有美子氏

「行革」で変わる船橋の未来

市長と有識者によるシンポジウムの開催が決定！
～これからの船橋について熱い議論が繰り広げられます～

令和元年
8/31 (土曜日)
14:00▶16:00
(受付 13:30～)

入場無料
申込み不要
※当日自由参加

詳しくはこちら

市民文化ホール (船橋市本町 2-2-5)

東武アーバンパークライン 北口 ● 船橋北口 駅
京成 船橋駅
京成線 (京成船橋駅) 南口 船橋駅 船橋駅
京成線 (京成船橋駅) 市民文化新設館
京成線 本町通口
船橋スクエア2 [本町駐車場]
市民文化ホール ●

お問い合わせ 船橋市 企画財政部 行政経営課 行財政改革推進係
電話 047-436-2462 FAX 047-436-2156
E-mail gyoseikeiei@city.funabashi.lg.jp

※京 船橋駅より徒歩7分または京成船橋駅から徒歩5分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

行革の取組内容や市の考え方を市民に知っていただくため「行革シンポジウム」を開催します。

市長と行革に精通した有識者が、専門的知見あるいは市民目線から、これからの船橋についてパネルディスカッションを行います。

日時: 令和元年8月31日(土)

14時～16時

会場: 市民文化ホール